

青少年・環境委員会 基本方針（案）

青少年・環境委員会 委員長 畠中 隆嘉

1 近年、情報通信技術の急速な革新で社会構造が大きく変化している今、また昨年の新型
2 コロナウイルス感染症流行の影響で地域社会でも情勢が変わり、子ども達が成長していく
3 上で必要な心の学びや人と人が直接コミュニケーションを取る機会が困難化しており様々な
4 体験を得る機会が極めて少なくなっています。子ども達の心と体が育まれる場を提
5 供し、寛容大度な人材に育て時代や環境が変わっても、人に優しく思いやりの心の大切さ
6 を伝えていくことが必要です。

7 まずは、一般社団法人佐賀青年会議所が一致団結をして青少年育成事業に取り組むため
8 に、現在の社会構造や大きく変わった情勢、子ども達が置かれている現状を知っていただ
9 き考える場を設けることで、関心を持つてもらいメンバーの意識の向上を図ります。そし
10 て、子ども達の純真な感性とコミュニケーション能力を高めるために、様々な世代の人と
11 ふれあい多様性のある心を育み、佐賀の次代の担い手として自己成長できる場を提供する
12 ことで、地域の魅力を感じ愛着を持ってもらいます。さらに、オンラインによるコミュニケーション
13 が日常化し柔軟に対応できる能力が必要であることを認識するために、IT教育を誰しもが十分に受けていない親世代の大人とIT環境が身近にある子ども達が共に学
14 び、ITを活用した多様な体験活動を通して、人と人がふれあう温かさを感じITの良し
15 悪しを理解することで、社会性を高め時代や環境が変わっても心の成長ができる事業を構
16 築します。また、環境では地域に愛着を持って暮らせるために、諸先輩が続けてこられた
17 河川清掃を4月と10月に実施することで、地域環境の美化、大切さを継承します。そし
18 て、地域発展の為に第一線で活動をし、数々の功績を残してこられた卒業生に感謝の気持ち
19 を伝えるために、精一杯の恭敬の心を込めて卒業生を送る会を開催することで、更なる
20 友情を深めます。

21 青少年事業を通して未来ある子ども達が人と人との繋がりを大切にし、感性を育み、大
22 きな時代の変遷に打ち勝っていくよう闘志の心を持って力強く闘い、現在（いま）を生
23 き抜き次代へつないで参ります。

25

[事業計画]

- 27 1. 青少年事業の企画・運営（7月）
- 28 2. 河川清掃（4月・10月）
- 29 3. 例会の企画・運営（5月）
- 30 4. 卒業生を送る会の企画・運営（12月）
- 31 5. 佐賀ブロック大会参加者への支援（6月）
- 32 6. 会員拡大 拡大目標 委員会5名（通年）